

～ 放課後等デイサービスにおける支援プログラムの開発 ～

活動の様子



取り組む課題

社会共創活動の主催団体の事業場（児童放課後等デイサービス）を訪問し、施設等で活動を行う。放課後等デイサービス事業所での子ども支援における実践とプログラムを開発し、学生が自ら実践に活かせるようになること。



本学（学生）の役割

当該事業施設において利用者（支援の対象児童たち）と実際に関わり、放課後等デイサービス事業所での子ども支援の実践を重ねる中で、より有効と考えられる支援のプログラムを開発し、最終的には事業所に対して提案を行うことである。

企画・活動概要

近年、発達障害をはじめ、特別な支援を必要としている子どもが増えてきている。その支援の場のひとつとして、主に学校の放課後に通所して仲間とともに過ごし、職員の指導を受けながら将来に向けたスキルを習得する放課後等デイサービスがある。本活動は、放課後等デイサービスにおいて、子どもたちをサポートしていくための支援プログラムを、学生の視点から考え、実践に活かせるようにインターン実習を通して練り上げ、当該施設を運営する株式会社OMOIYARI PLUS ONE 様に提案することを目標とするものである。

活動結果・成果・学生が成長した点・学生が身につけた能力

施設見学後も、3名のゼミ生がインターンシップ生として継続的に現場での実践経験を積ませていただくことになった。その結果、各学生が個別の支援プログラムのアイデアを提案し、今後の当該施設における支援に組み入れることを検討していただける運びとなった。学生自身による成長等に関する感想として、「活動を通して、児童の個性も含めて受け入れることの大切さを学んだ。」「障害者を見る目が変わったと感じ、自分も人として成長できたと思った。」といった意見が寄せられた。



経緯・背景・目的

障害児通所支援事業などを展開する株式会社 OMOIYARI PLUS ONE 様からの要望を受け、同社が運営する放課後等デイサービスにて、2024年度の3年生（研究演習Ⅱ所属）を中心に、子どもたちに提供している「学びのプログラム」の企画・実践に取り組むこととなった。

指導教員および関係者の紹介

<指導教員>



人間社会学部
心理社会学科
教授
岩崎久志（イワサキヒサシ）

<専門・担当科目等>
対人援助・臨床心理学、スクールソーシャルワーク論、教育相談

広く対人援助分野において、支援のあり方や対人援助専門職の養成および研修に係ることを専門としています。

<関係者・企業等>

株式会社OMOIYARI PLUS ONE
代表
住山利恵（スミヤマリエ）

以下の事業内容を展開している。1.児童福祉法に基づく障がい児通所支援事業、2.障がい者総合支援法に基づく就労支援事業、3.食品及び加工品販売。